

雇用改善事業の成果と継続事業

会則の一部改正など承認

四日市市で 常時総代会 開催



水谷 顧問のあいさつ

算報告の承認」
についてはそれぞれ担当委員長から詳細報告、特に雇用改善モデル事業関係については全組合員の積極的な協力、参加により限度額一ぱいの助成金交付を受けるなど、盛りたくさんの事業結果であり、こ

れに伴う収支決算についても会計監査報告により、全員拍手でもって承認、つづいて58年度事業計画案収支予算案について提案、雇用改善事業の第二年度計画を中心に積極的な組合事業内容と効率的運営に重点的な配慮をした予算案とともに全員異議なく承認された。

このあと関連事業報告などの審議承認後、午前中の総代会を終了。
午後は協力会定時総会として定刻開会、一六〇余名の会員が出席、繁田会長のあいさつにつづき中部電力、若原津支店長代理のあいさつ、このあと高山司会者の発議により議長に川瀬理事を

新装なった四日市市の誇る四日市市文化会館第三ホールにおいて五月十九日、工業組合第18回通常総代会ならびに協力会第38回定時総会を開催。
午前中は工業組合総代、一〇〇名中八二名出席(内委任出席十名)、高山理事の司会により定刻開会、繁田理事長のあいさつに続き今回新たに就任された水

谷顧問(水谷正俊県会議員)のあいさつ、「業界のため一生懸命勉強し努力するので今後とも気軽に情報提供と相談を持ちかけて頂き、共々発展のため活躍したい」と力強い励ましのことばがあった。
このあと議長に員弁地区川瀬理事を選出、議案審議に入る。
「57年度事業報告、収支決



第38回協力会定時総会

選出、「57年度事業報告、収支決算報告承認」に引続き「58年度事業計画案、収支予算案」については午前中同様全員異議なく承認成立。
ひきつづいて「会則の改正」について提案、審議の結果、賦課金の一部である工事施工時に納付する章紙代について意見・要望が各地区代表から活発に提案され審議されたが最終的には議長提案により承認可決され議案審議を終了。
引続いて表彰に入り、別項どおりそれぞれの功績者に賞状、記念品の授与を行ない無事総会を終えた。
(総代会、総会にて決定された主な項目は別項のとおり)



三重県電気工事業工業組合
三重県電気工事協力会
発行人 繁田 劭
編集責任 広報委員会

主な内容

- 総代会、総会開催……………1
- 晴れの表彰……………2
- 本部のうごき……………2
- 58年度の主な事業…3～4
- 県警だより……………4
- 会員異動のお知らせ……………5
- 青年部会の総会……………5
- 名所旧跡を
訪ねて(1)……………6～7
- 同 上(2)……………8
- リレ!随筆
「私の健康管理」……………9
- 地区だより……………10～11
- 「電気工事士」
筆記試験結果……………11

総会での表彰

- 1、安全推進優良工事店表
- 鳥羽地区 (協力会) 十三店
 - 津地区 正栄電気商会
 - 上野地区 中矢電気商会
 - 名張地区 モリデン機
 - 松阪地区 (翁)若林工業所
 - 大台地区 丸七電気商会
 - 尾鷲地区 庄司電機店
 - 伊勢地区 西野電気工業
 - 鳥羽地区 竹野電気商会
 - 綿方地区 西川電気
 - 四日市地区 小関電機工業株
 - 富田地区 野呂電気商会
 - 員弁地区 日進電機工業所
 - 鈴鹿地区 杉本電機店
- 2、小規模工事優良地区表
- 彰 (協力会) 九地区
 - 久居地区 (中部電力) 二二店
 - 松阪地区 ○津支部
 - 大台地区 吉田電器商会
 - 尾鷲地区 辻岡電気工業所
- 3、共済会事業無事故者表
- 彰 (共済会) 二五六店
 - 津支部 (翁)石田電気始メ六四店
 - 伊勢支部 植村電設機
 - 三共電気商会
 - 松阪支部 旭電気商会
 - 山本電設
 - 伊勢支部 亀井電機工業所
 - 加藤電気工業所
 - 坂本電設
 - 伊勢支部 (翁)中西電機商会
 - 四日市支部 福岡電機工業株
 - 増田電機商会
 - 野上工業所
 - 大田電機工業所
 - 山田電気工事
 - 東員電機工業所
 - (翁)仲洋電気
 - みゆき電気工業所
- 4、優良工事店感謝状贈呈
- 六店
 - 野上工業所
 - 大田電機工業所
 - 山田電気工事
 - 東員電機工業所
 - (翁)仲洋電気
 - みゆき電気工業所

晴れの表彰

- ①5月23日開催された全日電工連総会においてつぎの方々が晴れの表彰をうけました。
- 鳥羽地区 上村静男氏 (組合役員功労)
 - 松阪地区 菅野重治郎氏 (優良電気工事士表彰)
 - 津地区 鈴木昭氏 (組合職員功労)
 - 伊勢地区 亀井正信氏 (優良電気工事士表彰)
 - 安全中部委員会三重支部総 池山清司氏
- 会席上つぎの方々に委員長表彰が伝達され表彰されました。

本部理事会、委員会などのうごき

- ◎58・4・12(火) 総務委員会(5名出席)
 - 57年度決算について
 - 58年度予算案について
 - 総代会・総会運営について
- ◎58・4・15(金) 委員長会議(5名出席)
 - 57年度決算結果について
 - 58年度予算編成について
 - その他
- ◎58・4・20(水) 常任理事・各委員長会議(10名出席)
 - 理事会提案事項について
 - 57年度決算・58年度予算案について
 - その他
- ◎58・4・20(水) 理事会(一九名出席)
 - 事業報告
 - 加入・変更承認
 - 中電連絡事項
 - 総代会・総会提出議案について
 - 雇用改善モデル事業計画について
 - その他
- ◎58・4・23(土) 青年部会幹事会
 - 入会・退会の承認
 - 通常総会について
 - 58年度事業計画具体策について
 - 海浜大会開催について
 - その他
- ◎58・6・1(水) 厚生委員会(一四名出席)
 - 58年度事業計画について
 - 58年度事業計画について
 - 厚生年金基金加入促進について
 - 共済会関係について
 - 自動車関係事業について
 - 東海電友共済会関係について
 - その他
- ◎58・6・7(火) 経済委員会(六名出席)
 - 経営実態調査について
 - 経済講演会日程について
 - 動力用簡易積算用紙について
 - その他
- ◎58・6・13(月) 技術委員会(一四名出席)
 - 58年度事業具体策について
 - 安全標語の募集・作成について
 - 技能オリンピック大会について
 - ◎58・6・16(木) 広報委員会(七名出席)
 - 58年度事業具体策について
 - 提案制度について
 - 通信員制度について
 - その他
 - ◎58・6・18(土) 総務委員会(五名出席)
 - 58年度事業具体策について
 - 組織強化と効率運営について
 - その他



昭和58年度建設雇用改善モデル事業計画

別表

実施月別	(項目)地区別	雇用改善関係		技能向上関係		福祉向上関係	
		雇用改善研修会	「設計と積算」実務講習	シーケンス実務講習	健康診断	その他	
58/6	(桑名) (鵜方)	(松阪) (尾鷲)	(津・久居)	(四日市)			
7				(四日市)(伊勢)	青年部「海浜大会」		
8		(四日市)(伊勢)	(松阪)	(員弁)			
9		(上野)	(鈴鹿)	(鈴鹿) (鳥羽)			
10	(鈴鹿)			(上野) (松阪) (大台) (尾鷲) (鵜方) (富田)			
11	(上野)			(津) (久居)			
59/2		(鵜方)					
3				(桑名)			

(注) 上記のとおり各地区にて実施予定であり細部については都度、各地区から発表されますので積極的なご参加をお願いします。

総代会・総会において承認された

主な58年度事業について

1、「建設雇用改善モデル事業」
57年度に引続き第二年度事業としてつぎのとおり計画します。

「建設雇用改善モデル事業」
画実施予定であり、昨年同様組合員・従業員の積極的なご協力・ご参加をお願いします。

なお本年度は従業員を雇用している全事業所(建設保険適用事業所)に「建設

雇用管理ハンドブック」を配布いたしますので、各雇用管理者は十分参考とされ自店の点検、チェックに活用されますようよろしくお願いたします。

2、共同保守管理業務

一五〇件の契約化運動
受注量の減少などにより経営状態の困難な現在、その改善対策の一つとして、また営業分野の拡大による経営安定のため、かねてからすすめている共同保守業務の契約化について58年度は積極的な推進運動を展開することになりました。

①運動期間は58年4月1日から59年3月31日

②各地区ごとに保守業務委託登録組合員数比による目標数値の設定(年間一五〇件)

③目標達成支部に対する賞揚(達成支部に対し金五万円を贈る)

④期間中契約数の多い組合員の賞揚

一位 三万円
二位 二万円
三位 一万円

をそれぞれ贈る、などが決まりました。

なお各地区別目標数は別表のとおりでありますのでみなさんの積極的な推進活動を期待するとともに、この実績を足がかりとして今後の保守業務の拡大にご努力をお願いします。

別表

58年度 共同保守業務契約推進運動目標

地区	58年度契約目標数
津	15
居野張	6
久上名	13
計	38
松大尾	20
阪台鷲	5
計	33
伊鳥鶴	12
勢羽方	2
計	18
四富委員鈴鹿	22
市田名弁鹿山	5
計	10
計	7
計	10
計	61
合	150

3、改善提案制度の推進

日進月歩の技術革新の現代における電気工事業界の設計・施工・管理業務については組合員はじめ従業員が一体となってあらゆる能力向上に日夜努力されていることと思えます。なかにはちょっとしたアイデアにより従来より数倍の効果、安全確保に寄与されるケースも多いことあります。

このような日常業務を通じての改善意欲の向上と業界全体の技術向上、経営改善に資するため組合として

広く門戸を開き組合員全体に紹介するシステムとして本年度から改善提案制度を採用することとなりました。

頭初は提案することの奨励策として提案者に記念品をお贈りすることとしておりますが今後この運動が定着し、より高度な改善提案が生まれ業界の発展に貢献されんことを期待するものであり全員の積極的な提案意欲向上のためさらに具体化する予定であります。

4、安全標語の募集

58年度の安全推進努力目標としてはすでに「ゼロ災害をめざして 頑張ろう」

と決定しておりますが、日常各事業所に掲示する、作業出発前、作業時等の安全推進標語を広くみなさんか

各委員、役員の最も苦慮する事項であります。現在各種事業を積極的に展開し、組合員の参加とご協力により成果をあげつつありますが、58年度はより効果的な組合事業運営をめざすため

5、組合員の経営実態調査
低迷を続けている経済情勢下の電気工事業界の経営については種々複雑な要素がからみ決定的な打策の見出しは困難なことと思えます。しかし組合としての対策事業は当然必要であり

(次ページへつづく)

(前ページよりつづく)

組合員の経営実態調査を実施し、現在の動向把握のう えに立って検討をすすめた といと考えております。

具体的な調査方法につい

6、自動車関連事業につい

57年度から厚生委員会を 中心に調査検討中の自動車 関連事業として、アンケート 結果に基づき58年度からつ ぎの事業をスタートするよ う準備中であります。

①自動車整備指定工場制度 指定整備工場と組合共済会 との契約により料金の安定 化、代替車サービス、巡回 点検サービス、緊急時の指 定工場相互利用など相方に 有利な条件を交渉のうえ実 施する方向で具体策を検討 中であります。

7、その他事業

①昨年から隔年開催となっ た技能オリンピック大会に ついては本年十月県大会、 連合会大会が実施されま す。今後細部については具 体化されますが、各地区代 表選手による日常の技能を 大いに発揮されますよう期 待しております。

て現在経済委員会を中心に 準備中でありますので、主 旨をご理解いただき、全員 のご協力をよろしくお願ひ します。

②自動車共同購入制度

現在の自動車業界のうご きなど非常に困難な面もあ り、また多種類にわたるの ですぐに全面的実施とは無 理かと思われませんがアンケ ート結果による小型作業車 のような機種からでも何と か実施に入りたいと検討中 であります。いづれにして も組合員の理解による「結 集力」が効果を左右するこ とは十分考えられますので 今後の進展報告に対して積 極的なご協力をお願いいた します。

②中部連合会経営セミナー

例年実施されている経営 セミナーについて、本年は 三重県担当で九月開催され る予定となっております。 毎年検討項目を設定のうえ 各県の情報交換、意見発表 の場として有意義なセミナー の盛会を期待しております。

8、会則などの一部改正

①工業組合の賦課金、協力 会の会費徴収方法について 一部改正が承認されまし た。従来は4月、10月の年 二回徴収方法でありました が、最近の経済情勢を勘案 して年四回(四月・七月・ 十月・一月)に分け納入し ていただくこととなりました。

(賦課金・会費の年額は変 更ありません) ②協力会の会則中、工事施 工時、納付する賦課金(章

紙代)についてつぎのとお り改正されました。

④従来の低圧工事施行(申 請)一件毎に納付する五十 円は変更ありません。

⑤今回高圧工事施行(申 請)一件毎に金一千円を納 付していただくこととな りました。なおこの高圧工 事についての細部取扱い、 実施時期については現在関 係部署で調整中であり、決 定次第実施となりますので よろしくお願いいたしま す。

県警だより

運転免許の更新は

更新センターを利用すると便利です

従来、自動車運転免許証の更新は、受付、講習、免 許証の受領と3回警察署へ足を運ばなければなりません でしたが、このたび、中勢地区運転免許証更新セン ター(地図参照)で、手続きをした日に講習が受けら れ、免許証も講習が終り次第、交付されるようになりました。

県下のどの地区の人でも手続きができ、整備された 施設で充実した講習が受けられます。

受付から交付までの時間は約2時間半。ただし3年 間無事故、無違反で2回目以上の更新の人は、約1時 間以内で済みます。

◎運転免許更新手続の受付時間(日曜祭日を除く)

- ・平日 午前8時30分～午前10時0分
午後1時0分～午後2時0分
- ・土曜日 午前8時30分～午前10時0分

◎通常の更新時講習

- ・平日 午前10時からと午後2時からの2回
 - ・土曜日 午前10時からの1回
- いづれも所要時間約2時間—

◎簡業講習

3年間無事故、無違反で2回目以上の更新の人には、 受付後資料を配付し、簡単な説明の講習を行います。

◎その他

県下のどの地区の人でも利用できます。

◎場所

中勢地区運転免許更新センター
(津市高茶屋小森町、三重県自動車学校内)



会員異動のお知らせ

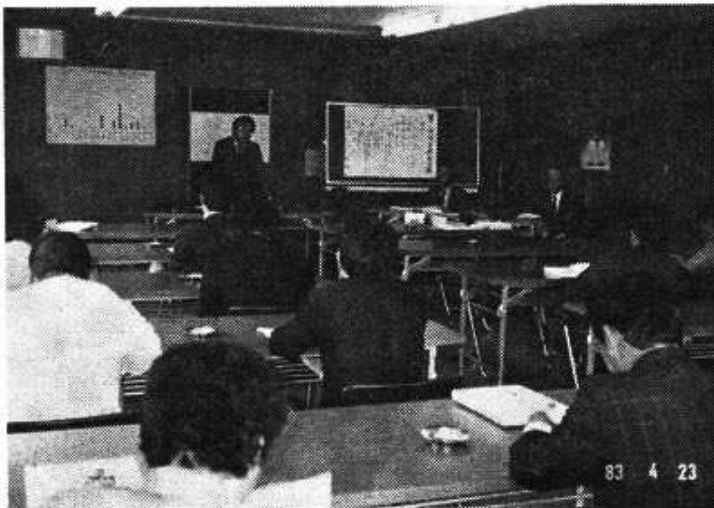
58年3月以降の会員異動は下記のとおりです、名簿への追記修正についてよろしく
お願いします。(事務局)

地区	種別	新旧	コード 番号	事業所名	代表者	住所	電話番号	郵便 番号	登録届出 申請番号
鳥羽	新加入		33322	三谷電気	三谷光一	鳥羽市石鏡町240	0599 32-5420	517	55-65
〃	〃		33323	山本電設	山本政由	鳥羽市答志町和具819	0599 37-2712	517	57-10
大台	〃		32333	中村電設	中村典夫	度会郡大宮町滝原1329-2	05988 6-3001	519-27	57-96
四日市	〃		34169	㈱直江電設	直江明	四日市市中川原1丁目1-3	0593 53-4043	510	届出 57-31
鈴鹿	〃		34765	共立電気工事	儀賀正美	鈴鹿市打越町2200	0593 86-3895	513	58-4
上野	退会		31452	上野三和電気商会	西岡義勝	上野市小田町沢の谷546-6	0595 21-3180	518	届出 53-2
松阪	〃		32686	近藤電気商会	近藤幸郎	松阪市庄町748-2	0598 29-2436	515-21	56-311
桑名	〃		34404	橋ヶ谷電気工業所	橋ヶ谷ひさ系	桑名市北魚町9	0594 22-2028	511	届出 56-19
津	承継加入	新旧	31021	松菱電気商会	松田石徳 江三	安芸郡芸濃町棕本892 617	059265 2381	514-22	56-200
松阪	変更	新旧	32100	親友電気商会	川端正	松阪市駅部田町字七元 1073-3	0598 23-1644	515	53-50
桑名	〃	新旧	34401	東新電気工業㈱	黒田省一	〃 田村町817 桑名市末広町38-2	0594 22-0585	511	届出 460055

青年部会

第二回通常総会の開催

去る4月23日(土)、三重県電気業会館において、青年部会、第二回通常総会を開催、会員九五名中、出席六二名(委任出席を含む)で定刻開会、四日市地区小林副会長が議長に選出され、「57年度事業報告および収支決算報告」の承認にひきつづき「58年度事業計画」の承認に、現在会員九五名であるが日常会合す



福田会長あいさつ

誤結線
シマッタでは
済まぬ
プロの恥

る機会も少く面識も薄い青年として今後の活動を盛り上げるため県全体の事業以上に各ブロック別会合に重点をおき意見交換、親睦を重ねることにより、より効果的な団結力を図るとともに、会員増に力を注ぐという、下部からの盛りあがり期待する計画が承認され、工業組合青年部会としてのよき後継者育成に努力しようとの力強い決議内容であった。

なお県全体事業として七月十日、昨年同様「海浜大会」を開催することとなっている。

〈リレー特集〉

「名所、旧跡を訪ねて」 (その一)

高田山専修寺と寺内町一身田

津地区 川上兵二



巨大な「高田山」の山門

この記事がある、高田山の文字は江戸時代の名筆青蓮院門跡尊真法親王の山額。唐門は丁度如来堂の真正面に在り此の山門は正面に御影堂がそびえている、山門の内側から広い石畳が東御堂まで続く。

山門の左手に参拝受付がある、専修寺参拝の礎と真宗高田派本山専修寺の由来ともう一枚専修寺昭和の大改修の趣意書である。此れをもう本堂は二二二五年、御影堂は三百一十七年の年月が経って、幾星霜の風雨に耐えて来た建物もやがては傷みもきつつかろか、大改修には十億円もの資金が必要だと記されていた。

石畳を渡ると御影堂の階段に至る礎に依ると間口二四間、奥行二〇間、畳が七百二十五枚、本堂の如来堂より八十二年も古く寛文六年(一六六六年)の建築。此の大伽藍は徳川初期の特色を持つ、外見は純和風様で簡素な作りであるが内部は金襴巻の大円柱、極彩色の天井、丸彫の欄間など当時の装飾技術の粋を極めた華麗さである、此の御影堂は本堂の如来堂が西側に在るのでこちらは東御堂と呼ばれている。

親鸞聖人の木像を中央にして両側に歴代上人の画像が敬置されている。専修寺は一三世覺真の頃両御堂ともに火災により炎上したが両堂とも再建されると記されている。現在の御影堂は一四世覺秀の時に再建された(一六六六年)その一年前、正保二年(一六五五年)二度目の大火により大伽藍すべて灰燼と化したとある、十一年目に津藩主藤堂高次造営し専修寺に寄進されたとも言われる。元来専修寺は親鸞聖人五四歳嘉禄二年(一二二六年)現在の栃木県芳賀郡二宮町高田に建立された。二百年後第十世中興真懸上人が三重県一身田に無量寿院を建て、さぞや大変なことであったであろう。歴代の専修寺のあゆみの中にも郷土史の内にも信長にも軍の兵馬に荒らされたり、他宗に焼かれた記事は一つもない、今次の大戦にも雨の様に降った焼夷弾も受けていない。親鸞精神の偉大さと言うほかない。

御影堂から廊下を西に向ける広い板張りの通路は古く三百年の昔からのものか風化が激しい亦最近鳩が多く害を廊下に及ぼしている。頭上屋根に左甚五郎作の鶴が舞う如来堂西御堂に至る

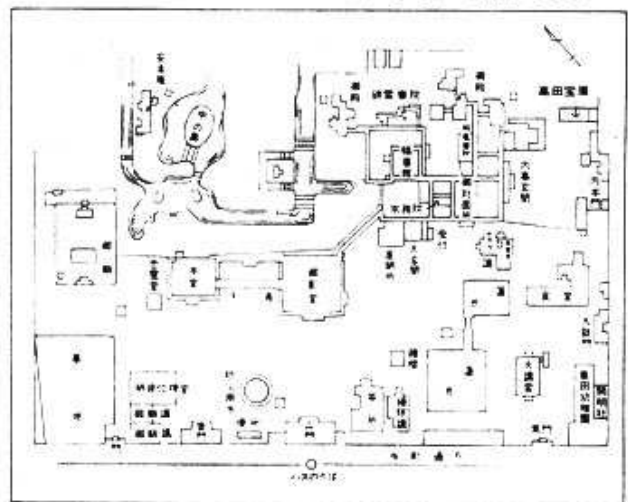
国鉄津駅より北へ一つ目一身田駅めずらしい名で、此処の地名も同じ旧い大宝律令の名残とも言われる、乗降客は少ない。駅前には町にふさわしく静寂である駅前を東方二〇〇m、土塀に白線五条が横に引かれた瓦葺の塀が続く、大きな屋根に続いて華麗な装飾彫刻が施された唐門の前に出る。県指定文化財江戸時代完成、弘化元年(一八四四

年)の説明表札が在る門扉の中央に一六弁の菊花紋が彫り出している。歴代住持に皇族出身の方をお迎えしたことによると言う、名工高木光規の建築。土塀にそって東へ一五〇米程に巨大な山門が在る二階部上段に高田山の大幅字が見える、傍の案内表札に県指定文化財専修寺山門江戸時代完成は宝永元年(一七〇四年)である他に建築の様式大きな記事がある、高田山の文字は江戸時代の名筆青蓮院門跡尊真法親王の山額。唐門は丁度如来堂の真正面に在り此の山門は正面に御影堂がそびえている、山門の内側から広い石畳が東御堂まで続く。

親鸞聖人の木像を中央にして両側に歴代上人の画像が敬置されている。専修寺は一三世覺真の頃両御堂ともに火災により炎上したが両堂とも再建されると記されている。現在の御影堂は一四世覺秀の時に再建された(一六六六年)その一年前、正保二年(一六五五年)二度目の大火により大伽藍すべて灰燼と化したとある、十一年目に津藩主藤堂高次造営し専修寺に寄進されたとも言われる。元来専修寺は親鸞聖人五四歳嘉禄二年(一二二六年)現在の栃木県芳賀郡二宮町高田に建立された。二百年後第十世中興真懸上人が三重県一身田に無量寿院を建て、さぞや大変なことであったであろう。歴代の専修寺のあゆみの中にも郷土史の内にも信長にも軍の兵馬に荒らされたり、他宗に焼かれた記事は一つもない、今次の大戦にも雨の様に降った焼夷弾も受けていない。親鸞精神の偉大さと言うほかない。

東南隅の柱の台石に寛保三年七月十一日(一七四三年)本覚道元信士俗名勘六と彫ってある、石であるから永久に消えないもの、此の如来堂建築に人柱となつた老人の名である、供養のため一本の松が植えられ勘六松と呼ばれた、二年前程まで巨木と成って二百年余の生命を持った、三本の岐枝を天空にそびえさせていた、だが例の松食虫の害に逢い今はもう無い。如来堂本堂(重文)建築着工は享

真宗高田派本山専修寺境内配置図



(次ページにつづく)

〔前ページよりつづく〕

保六年（一七二二年）で着工当初からさまざまな困難があったと言ふ当時の記録は如何なものか、勘六老師が大成を早く願って人柱になったのが着工以来二十二年も経った頃の出来事で、まだ一本の柱も建たない頃か、建立には多くの人々の様々な思いと生活があったことだろう。

本堂が見事華麗に完成したのが寛延元年（一七四八年）足かけ二十七年間が去って行った、実に大事業だった。棟梁は近江八幡の高木日向光進完成ならず死亡し其の子但馬光親が落成させた。「証拠の如来」と呼ばれる阿弥陀如来の木像を本尊として中央の須弥壇上に安置し、その両脇に浄土七高僧像、聖徳太子像と九字十字の名号を敬置する。御影堂が信仰の中核であるのに対して教義上はこの堂が専修寺の本堂である、入母屋造の屋根に裳階（もこし）を付けて二階建のような外観、正面の軒に唐破風が作られている、軒裏の扇型の垂木や複雑な斗拱の組物など唐様の建築技法が用いられて見事なものと言え



白線5条が引かれた土塀が200m続く

更に西に出ると御廟がある、常緑の大木に囲まれ寂として暗い、御廟は親鸞聖人の御墓であります、歯骨五粒が納められている、亦歴代法主の御遺骨も納められている。寛文十一年（一六七一年）造られた正面に拜堂と小型の唐門それに続く透塀とは江戸時代末期の建築で華麗な装飾彫刻が配置され見事である。鐘楼と梵鐘、津市指定文化財、慶安五年（一六五二年）の一五世門跡亮朝上人の内室

高松院が願主と成って鉦物師辻越後守重種と氏種に命じて作らせた梵鐘である。高松院は藤堂高次の娘で悲運な女性と伝える。正保三年（一六四六年）専修寺第一五代法主亮朝上人は江戸幕府に呼びつけられた、それは先に父亮秀上人が朝廷から大僧正の位を貰ったのですが幕府に無断であったのは「幕府をないがしろにするもの」というわけで、上人は当時事情を説明し他意ないものと申し

開きされる、時の津藩主藤堂高次いろいろ儘力したが家光の怒りは許されず、されば本山に伝わる親鸞の真筆を差出したら許すという現在なればコピーで残しすから本物はどうぞ命には替えられないと成ったかも知れない、だが真筆を取られることは本山の滅亡にも成りかねない、一年前には専修寺は大火で焼けているその再建も大火、其の上、寺宝を失ってはとうして一身田へ帰る事が出来様、二度と伊勢の地を踏むことなく江戸で自決してしまった。こうして寺宝は守もられ

先頃大修理が行はれた茶席安楽庵、竹と苔の名園雲幽園、高田宝物庫山内の東門に三層の大鼓門がある、北裏方面に錦雲書院、御対面所桐鳳書院、内事の東御殿及西御殿がある。納骨堂も立派。寺内に各種奉仕団の建物も数多い。聖人生誕800年記念施設の高田青少年会館は設備も大きく宿泊、会合等に仲々の人気がある。年間行事、宝物類、人物系図七五〇年の旧跡巡りは尽きることがない。

終りに寺内町について、大雨になると一度に底地に水がよせて来て浮き上るのが一頃の寺内町一身分であった。幕末の頃までは専修寺を中心近くの川から水を引いた濠を周囲に巡らして丁度お城の様であった、平地の中巨大ないらかのそびえる一大法城、随分遠くからでも輝いて見えたことだろう。昔は水流をささげざるものは何もなかった、自然の調整池が近隣の田畑に在った、一身分は寺を中心に濠があり出入は三つの門で、朝門を開け夕方その門は締められた、夜間は寺内からは出られず亦外部からは出入は出来ない、門にはそれぞれ濠に橋が掛って

た。時に上人まだ三二歳であった、其の時代背景も良く無かったと言える。上人の自害後八年目に夫人高松院によって建立されたものの、夫人は髪をおろし上人の菩提を長くとむらわれた由。此の事件は大変痛ましい高松院座像が今も残されて門前の渡辺家にあるという、渡辺家も末寺であるが今はさびれている。小説家丹羽文雄氏によって短編小説「尼の像」は此の高松院がモデルといわれる。本山内にはまだ見て回る処が多い。書院賜春館、つい

いた、門前には沢山の末寺が並び、末寺と濠の間に町家があり皆御用商人であった、南門の前通りは橋の向う側であったので人々は橋向いと呼んだ、今もそう呼んでいる、人の集る処には昔も今も同じで旅の客人目あてに次々と商業が起きて来る、長旅の疲れは温かおもてなしと様々な接待であった、いつの間にか一大天国の楽園化して行った。終戦時代まででそれも終りをづけ、現在は其の名残りもない。本山の手あつい商業保護策に生きた一身分寺内町も今は自からの力ですべて言う時代に来ている、其の時代の人々はもう現在は見当らない。

ハルート√三交バス一身分 本山前と高田学校前、国鉄紀勢線一身分駅、同四日市線東一身分駅、近鉄は高田本山駅から西へ一き余、但し急行は停車しない、バスが通っている。



〈リレー特集〉

「名所、旧跡を訪ねて」 (その二)

伊賀越仇討(荒木又右衛門仇討の里)

上野地区 山 森 博

「忍者の里」 荒木又右衛門仇討の地と呼ばれる伊賀国は、山に囲まれた九里四方の小さな盆地、その中心は上野市である。街の北側の丘には、白亜三層の伊賀上野城が、静かな雰囲気をかもしながら、端麗な姿を見せている。

藩主池田忠雄侯は又五郎の行方を探らせたと、江戸で直参の旗本安藤治左衛門方にかくまわれていることが判明したので身柄の引渡しを申出たが、応じなかったので事件は大名と旗

本との対決へと発展した。こうした経緯のなかで、渡辺数馬は藩主より上意討の免許をえて又五郎の行方

を追いもとめて旅立ち、遂中大和国郡山藩に仕える姉婿荒木又右衛門に助太刀を頼んだ。

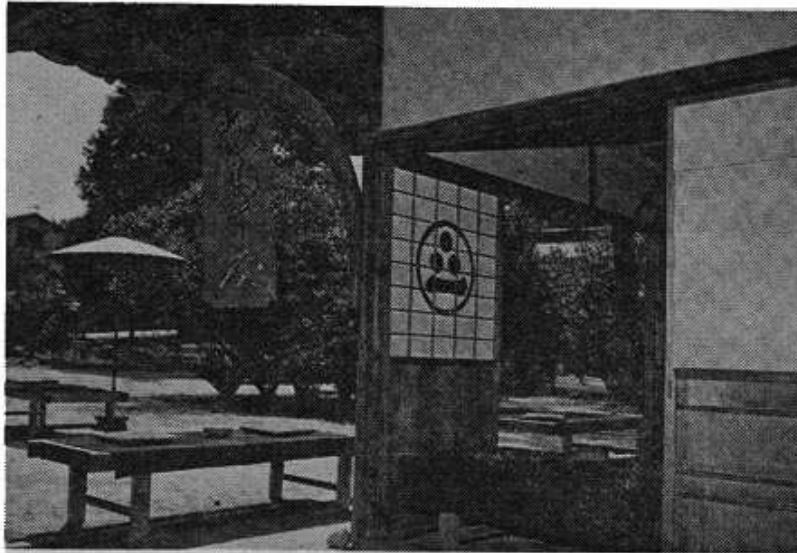
ちょうどその頃、諸国を逃げ回っていた又五郎は武芸の達人河合甚左衛門、桜井半兵衛らに警護され、再び江戸にまぎれ込もうとして寛永十一年十一月九日奈良から笠置を越えて、その夜伊賀国烏ヶ原に投宿し

た。それを知った数馬、又右衛門の主従四人は伊賀上野城下西のはずれ鍵屋ノ辻萬屋の茶屋で待ち伏せていた。又五郎の一行の十一人は人目をはばかる様に早晩宿をたち、鍵屋ノ辻にさしかかったところ、数馬、又右衛門一行の前に立ち塞がり大音声をあげて仇討の主意を伝え、又五郎一行に斬りかかった。

又右衛門は河合甚左衛門桜井半兵衛とわたりあってこれを討ちとり、主勢を崩したがまだ又五郎と数馬の勝負はついていなかった。かけつけた又右衛門は数馬を叱咤し、激闘数時のすえ遂に大願を成就した。

検視に立合った藤堂藩は武門の作法にない数馬、又右衛門の武勇を讃えるところに、又五郎の霊を慰らに弔った。

世にこの本懐を「伊賀越鍵屋ノ辻の血闘」「荒木又衛門三十六人斬り」と呼び芝居、映画等で天下の話題となった。



三重県電材卸商組合

(有)日新碍子製作所	ウラタ電材(株)	三重菱電機(株)
大成電機産業(株)	(株)扇港電機商会	三重東芝電設(株)
四日市名伸(株)	三愛電機(株)	国際電気工業(株)

〈リレー随筆〉

「私の健康管理」

松阪地区 福田 佑治

最近年寄りの健康管理については異常と思える程夫々関心を寄せている、趣味にしても大方のものは健康になつてゐる様であり、なかなか盛況である。踊り、三味線、大鼓、民謡、詩吟、等々、また直接体育に関係するものにマラソン、ジョギング、歩こう会、ゲートボール等々、皆健康のため老人ぼけを防ぐためひいては長寿のためと言うことになる。それには現代は昭和元禄とか老人天国とか言はれる通り、老人福祉にしてもかなり行届いている様であり、生活もある程度保障されている、誠に結構な御時世と言はざるを得ない。

その前に基本的なことは、人間は働く為を生れて来たこと「自分の為、他人の為或は社会の為を問はず」二、体としても頭にしても又心にしても楽をして早く寝る、病人でない限り自分を苦しめることである。それが即ち健康につながるものであり「苦は楽のもと」の諺でもある、それが私の余生の信条である。

先ず今日は体の健康管理について私の実行していること述べてみたい、但しこれは誰から教はったことでもなく勿論医学的ではない、自分の体の不調や神経のおもむくままを実行しているのであるから人に依つては非難される点があるかも知れないことをお断りしておく。

「六時起床より朝食前の運動一時間」
一、寝床を出るまでの体操
(1)寝たまの姿で手足を伸ばす、手足首の屈折繰返し(二〇〇回)
(2)上体を起し腰を起点として屈折繰返し(二〇〇回) (手先が足の先に届くまで曲げる)
二、寝床を出てからの体操 (裸かシャツ掛けて小学校でやった通りでよい)
(1)立休運動
首の体操(前後左右又大きく回す)各二〇回
手の体操(前後左右又大きく上下)各二〇回
腰の体操(手を腰に当て足を曲げないで上半身屈折繰返し)各五〇回 (前に曲げた時手先が足の先に触れるまで)
(2)竹踏み(孟宗竹を半分にしたものを伏せ土つかずで踏みつける

(1)分
(3)膝関折運動(竹を土つかずに踏んだまま腰に手を当て上体を上下する)五〇回
(4)竹を外しかけ足姿勢で足踏み(五〇〇回)一〇〇〇回
これで一応寒中でも汗が出る、汗が出たところで場所を替えて
三、全身マッサージ(健康たわしで首から足の先まで擦る)
四、水垢離(浴槽か盥に水を張って足の先から入れる、寒中は冷たいので先ず丸に一回位水をかけてから腹、胸、背と濡らす、最後にその水で水垢離をとる)
五、眼・鼻・洗水(顔面を水につけ眼球をくるくる回す、鼻は片方づつ押さえて水を吸い込む、口にも這いってゆすが耳には障害ない)
最後にコップで水を冬期は二杯、夏期は三杯か四杯呑む、これで万事終る、これで昨日の「心の垢」「体の垢」を綺麗に落して今日の労働の出発となる。

「出勤より帰宅までの一日」
(1)歩くこと(急ぎの時はそれだけ早く出発する)
(2)自宅より店まで約一、二キロ往復二、四キロ(雨風に無関係)
(3)名古屋・大阪位の特急に乗らない(但し遊らんを目的としたるときはこの限りでない)
(4)体を鍛える、本が読める、経済的である)
(5)四キロ位までは車に乗らない。
かくて余生を年寄りに応じた働きと趣味を持ち、平凡ながら幸福な暮らしであると神に感謝している、又機会があれば他の健康管理に触れたい。



考えすぎては明日の電気。

地区だより

〔松阪〕

五十七年度は新しい事業として雇用改善事業及び工量制に関する設計と積算の実務講習会等盛り沢山ありましたが組合員の深い理解と協力で依り初期の目的は達成しましたが本年度はさらに充実することを望み五月二十四日通常総会に於て事業計画を提案し原案通り可決された主な事業は左記の通り。

- 六月 1、上期安全推進会議
- 2、設計と積算の実務講習会
- 3、組合員親睦会
- 七月 1、安全パトロール
- 2、電気工事士法電気工事業法に関する教育指導
- 八月 1、シーケンス講習会
- 2、保護具防具及び測定検査
- 3、全国電気使用安全運動行事
- 九月 1、共同保守管理業務推進
- 十月 1、技能オリンピック

ク出場特訓

2、雇用改善事業に伴う集団健康診断

十一月1、交通安全教育

2、安全推進会議

一月 1、年頭臨時総会

二月 1、保護具防具及び測定検査

2、安全パトロール

3、技術指導講習会

4、新加入者指導講習会

三月 1、予算決算の審議

〔亀山〕

昭和58年度協力会

亀山地区安全推進

会議開催

地区安全推進会議構成メンバーによる本年度基本方針にもとずき「ゼロ災害をめざして頑張ろう」をスローガンに安全作業の指導を徹底して行うとともに、災害に対する原因の究明と再発防止策の周知徹底に力を入れ、安全管理実施計画を左記の通り計画した。

災害事例検討会 7月

危険予知訓練

安全講習会

安全作業訓練

救急法訓練

防具保護具点検

安全パトロール

高圧ゴム長靴の耐圧試験

高圧ゴム手袋

高圧ゴム長靴一足不

行った結果

高圧ゴム長靴一足不

行った結果

高圧ゴム長靴一足不

行った結果


高圧ゴム長靴一足不

行った結果

高圧ゴム長靴一足不

電気は正しく 安全に!

電気工事は適正配線、信用と技術



組合員名

お問合せは 鈴鹿電気工事業協同組合 ☎ 82-5535

〔鈴鹿〕

鈴鹿電気工事業協同組合

その後のいろいろ

良があった。普段使用回数
の少ない保護具についても
常に整備する必要があると
思った。それと同時に計器
保護具の検査表カードも併
せて、記録する習慣をつけ
たいものである。

◎電話お知らせ!!
このほど亀山電設協同組
合の電話がひきました。

TEL 05958
②7577

私達の組合も諸役員の努
力に依り発展して来ましたが、今や会員五十三名とな
り、運営面でも、色々の問
題も生じてまいり本年度の
総会において、本年度の事
業計画が承認されました。
その一点が、昨年度と異な
る総務委員会なるものが生
れた事であり、総務委員会
の構成は、理事長始め、各理
事、それぞれ各部委員長で
構成され、毎月一回委員会
をもちいろいろの事業、行
事の運営を審議決定して、
定例会で全員で協議し承認
又は決定していくものであ
ります。

第一回の総務委員会で、
当初の広報部の事業計画で
ありました新聞折込チラシ
を、色々の角度から検討協
議した結果、全市内を実施
した場合予算的に無理が生
じる事となるため、それに
代る良いものはないかと話
し合った結果、全市内は言
うに及ばず、広く市外にま
で毎日走り回っている組合
員の作業車を利用すれば、

こんなに安上りはない。そ
れでは、何の目的で、どの
様なものにするか、いろい
ろ多種多様の意見が出され
た中で、建築戸数が、極度
に落ち込んでいる現在、吾
々組合員の仕事量も当然少
なくなっているのが現状で
あり、それに加え、今迄会
社関係又は下請で仕事して
いた電気工事業者が町場仕
事に進出し吾々の仕事量
は、一層減少して来た、そ
れには、電気に対する、お
そろしさ、吾々組合員は定
期的に技術講習、内規講習
等で、知識もつんでいる点
で、組合員外の業者とは、
施工技術等で需用家から見
て、区別が出来る様なもの
にする事で意見が一致、広
報部で図案募集し数点の図
案の中から写真の様なステ
ッカーが出来上り、五月二
十三日の定例会で全組合員
に配付しました、今後市中
で見掛ける事でしようが、
ステッカーに対する御意見
御感想をお寄せ下さい。

(西川忠行)

(四日市)

協力会四日市支部定時総会

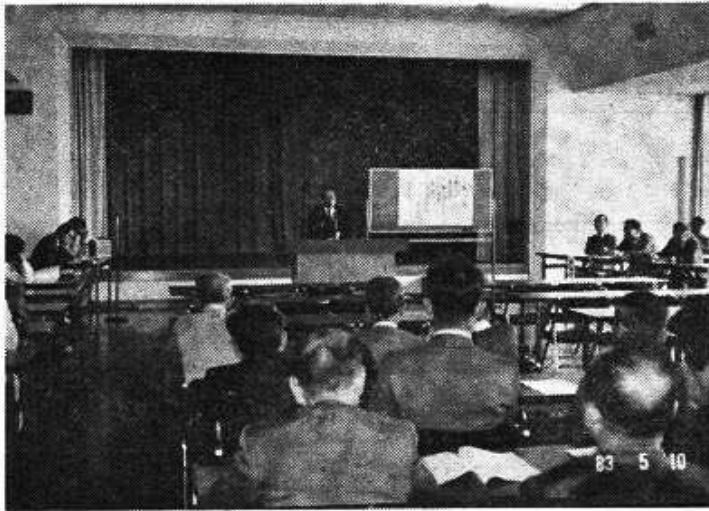
および協同組合通常総会開催

①五月十日(火)、三重県四日市庁舎大会議室において協力会四日市支部総会を開催、来賓ならびに会員一一名が出席、57年度事業報告ならびに収支決算、58年度事業計画案ならびに収

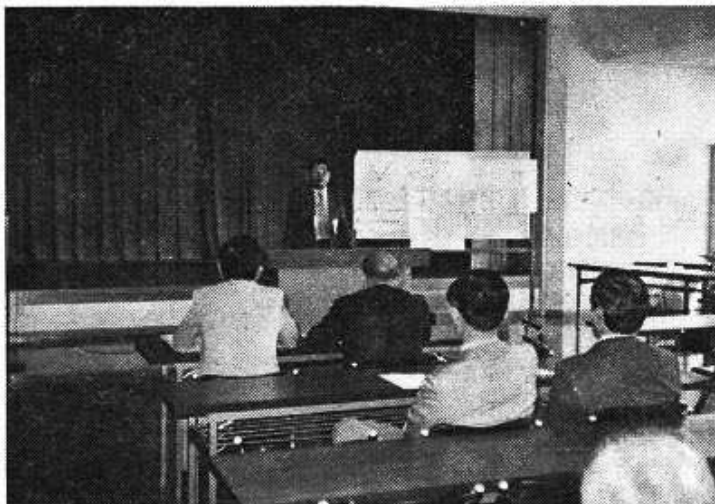
支予算案を原案どおり承認可決、終了後「安全講演会」として中電、後藤桑名営業所長から、日常各事業主が従業員に対する会話を通じての安全意識の高揚方法、手法など常識的なこと

でありながら忘れがちな盲点を巧にとらえた講演が約一時間実施され、あらためて安全教育のむずかしさと重要性に深い感銘をうけた。

②五月十七日(火)四日市電気会館において四日市電気事業協同組合ならびに電友会の通常総会を開催、組合員他一一四名が出席、小林理事を議長に選出、それぞれ原案どおり承認可決された。



協力会四日市支部総会



後藤中電桑名営業所長の「安全講演」

財産づくりは<野村>

お気軽にご相談ください

中部電力債をはじめ、国債、割引債、投資信託、株式など財産づくりの情報は<野村>の窓口で、ベテランの係員がお持ちしています。

野村証券
四日市支店
四日市市南町1番14号
(近鉄四日市駅前・国道側)
電話 四日市(059) 53-2141(代)

58年度 電気工事士筆記試験結果

去る5月22日実施された結果はつぎのとおり。

筆記試験受験者 九四五名
同 合格者 三五七名
合格率 三七・七%

なお合格者に対する実技試験は来る七月二十

二日(金)に鈴鹿市・三重県消防学校において実施されますので各地区における受験講習会について受講者、講師ともども、さらに一段のご健闘をお願いいたします。

新製品

自動デマンド制御装置 ZY-11D

この性能、この価格！…695,000円 (標準価格)

合理化ソフトを満載した電力管理新時代のニューディバイス。

夏場目前！今がおすすめの絶好機です。

電力エネルギーへの依存度がますます高まっている今日、最大電力の上限抑制は、企業のローコスト経営を実現するために不可欠な業務となっています。

ナショナル自動デマンド制御装置ZY-11Dは、長年蓄積した電力管理のソフト技術を結集。優れた性能と経済性で、企業のローコスト経営に大きく貢献します。

電力消費の大きい夏場の電力管理はとくに重要。今が絶好のおすすめ時期です。

特長

① 超過電力によって変化する制御サイクル

調整電力の超過度(制御の緊急度)により、制御サイクルを15~60秒に変。管理の精度を高めます。

② 緊急制御機能がバックアップ

上記機能に加えて、急激な負荷変動により現在電力が現在電力限界線(基準電力+未制御しゃ断電力)を超過した場合、未制御しゃ断電力をすべてしゃ断し、目標電力の超過を防ぎます。

③ 日負荷グラフ、月報印字を標準装備

1日の負荷状態がひと目でわかる日負荷グラフと毎日の最大デマンドと使用電力量を集計した月報印字を標準装備。電力管理業務が合理化できます。

④ デマンド発生頻度(分布)を集計印字

月末集計時に最大デマンドを目標電力比5%ごとに区分し、発生分布を計数印字。最大電力対策に便利です。

⑤ フラットパネルキーボード

による一括操作

すべての設定・表示・選択は、フラットパネルキーボードでワンタッチ操作。電子ロックキーの採用で設定データの保護は万全です。

⑥ 見やすくなった

管理データを組合せ表示

予測・調整・現在・基準各電力と残り時間のほか、最大デマンド・月累計KWhなどを、管理し易い組合せで表示します。



松下電器産業株式会社

中部設備機器営業所

郵便番号 461

名古屋市東区泉一丁目23番30号

電話名古屋<052> 951-6281(大代表)